

くまさんデンタルクリニック 口腔ケア新聞

NPO法人
訪問歯科診療
を広める会
賛助会員



平成23年10月号

発行人: くまさんデンタルクリニック

院長: 北澤和也

紙面に関するお問い合わせは下記まで

電話: 0120-779-418

配信代行: 訪問歯科診療を広める会

皆さん、こんにちは! いかがお過ごしですか?
くまさんデンタルクリニック、院長の北澤和也です。

一般的に歯科では、むし歯、入れ歯、歯周病など歯に直接関連した疾患が思い浮かびますが、これらを除いたお口の病気にも対応します。例えば、口腔粘膜の病気もその一つです。口腔粘膜の病気には、白板症、紅板症、扁平苔癬(へんぺいたいせん)・・・など初めて耳にするようなものがたくさんあります。まれに口腔癌へと進行するものがあり、軽率な自己判断は予後に重大な悪影響を及ぼしますので、専門家による診断が必要です。そんな口腔粘膜に関する病気の中で、最も代表的なものは口内炎ですが、口内炎にもいろいろな種類が存在します。

そこで今回は、「口内炎」についてご紹介したいと思います。

幅広い年齢層に見られる口内炎

ごく一般的で、幅広い年齢層に見られるものがアフタと呼ばれるもの。米粒大の白っぽい円形の潰瘍で、痛みをとめない、病態的には胃潰瘍と似ています。体質、暴飲暴食、ストレス、口の中にできた傷などで誘発されると考えられていますが、原因不明のものもあります。通常10日位で自然に治ります。痛みが強く食事や会話に支障をきたす多発・再発を繰り返すアフタの場合は、ステロイドの軟膏剤や貼用剤を使用します。治癒を早め、接触痛も和らげるメリットがあります。



高齢者に多い口内炎

入れ歯が慢性的に歯ぐきを圧迫・摩擦して起こる義歯(入れ歯)性の口内炎は、高齢者によく見られるものの一つです。入れ歯が合っていないことが原因なので、歯科医師が入れ歯の調整をすることで、多くの場合は改善できます。細菌によって炎症が悪化するので、うがい薬で口腔内を清潔にし、

入れ歯はよく清掃して常にきれいな状態で使用してください。

また免疫力の低下した要介護高齢者によく見られるものとして、カンジダ(カビの一種)性の口内炎があります。頬の内側、舌などに白く点状・地図様に出るものや、赤いまだら状にびらんが起こり、痛みや味覚障害を伴うことがあります。糖尿病やステロイド薬を服用している方にも発症しやすく、治療は抗真菌薬を含むうがい薬と、栄養状態を改善して免疫力の回復を促します。

歯磨き粉には、発泡剤が含まれていて、粘膜を保護している組織(ムチン層)を分解して粘膜障害を助長するので、治るまで歯磨き粉の使用を控えるのもよいでしょう。

ぜひ定期健診を受けてください

高齢者の口内炎は、治癒の悪いものや、原因不明のもの、時には他の重大な粘膜疾患である場合があります。早期発見のためにも、ぜひ定期的に歯科健診を受けてください。

◆◆ 口内粘膜の異常は早期に歯科医院を受診しましょう ◆◆

口腔ケア新聞の発行にあたって

ここ数年、外来患者さんやそのご家族から訪問診療のお問い合わせやご依頼を受けるケースがとて増えました。小さなご病気されてしまったことがキッカケで、寝たきりになってしまわれたりして、「いつもお元気でいいですね」と話をしていただいていたのに・・・そんなことが続いたので、これは本格的に訪問診療に取り組まなければいけないかなって、強く思うようになりました。

そこで取り組みの一環として、要介護者の歯と口に関する情報を地域の介護に携わっている方にお届けしようと考え、口腔ケア新聞を毎月1回発行しています。

くまさんデンタルクリニック

診療時間 平日9:00~19:30 土・日9:00~13:00

診療科目 一般歯科 小児歯科 予防歯科
訪問歯科

休診日 火・祝日 院長 北澤 和也

市原市白金町3-4-4

☎0436-26-3666 FAX 0436-26-3667

http://www.kumasan-dent.com